

WELFARE INFORMATION GIFU

福祉だより ぎふ



開会挨拶

岐阜県民生委員
児童委員協議会
澤井 基光 会長



来賓祝辞 岐阜県 古田 肇 知事

岐阜県民生委員制度創設100周年記念 第13回岐阜県民生委員児童委員大会を開催



岐阜県民生委員児童委員協議会表彰

功労民生委員・児童委員表彰 291名
功労民児協会長表彰 21名
優良民児協表彰 4団体

11月11日(金)、不二羽島文化センター(羽島市)において岐阜県民生委員制度創設100周年記念 第13回岐阜県民生委員児童委員大会を開催し、県内民生委員・児童委員約600名が参加されました。岐阜県知事をはじめ、開催地である羽島市長等、多くのご来賓の方々をお招きし、盛大に開催されました。



記念講演

「心の健康
～これからも『良き隣人』として
活動するために～」
こころ元気研究所 所長
鎌田 敏 氏

CONTENTS

2022
12
No.720



- 福祉のお仕事魅力発信フェスタ【開催報告】
来て・見て・感じて ふくしワールド P 2
- 企業における社会貢献活動に関する調査結果と
企業と社協の連携による地域福祉活動の推進について P 4
- 「安心とやさしさに包まれたまち」を目指して
本巣市本巣民生委員児童委員協議会 P 6
- リフトバス「ながら号」仮予約受付開始 P 7
- 岐阜福祉の杜追加開催のお知らせ
- ありがとうございました P 8

福祉のお仕事魅力発信フェスタ

来て・見て・感じて

ふくしワールド

福祉で働く
ステキな人たち

開催
報告

11月12日(土)イオンモール各務原 1階 ノースコートにて「ふくしワールド」を開催しました。介護・福祉の仕事の魅力を、現場で活躍する職員さんたちから発信していただきました。
ステージイベント『福祉で働くステキな人たち』では、特別養護老人ホーム恵翔苑、介護老人保健施設寺田ガーデン、障がい者支援施設白竹の里から代表の職員さんがイオンモール各務原のメインステージに登場し、また、オンライン



ン中継で繋いだ各施設からも、職員さんが生出演でお仕事の魅力を語ってくださいました。会場周辺では多くの方が熱心に聞き入り、最後は大きな拍手で幕を閉じました。

また、展示コーナーは『あなたの知らない福祉の世界』と題して、岐阜県福祉人材総合支援センターの「福祉公式アカウント」から福祉社の魅力情報BOXからピックアップした福祉施設の日常のほっこりするワンシーンや取り組みな



どの投稿に投稿者(ぎふ福祉の魅力知らせ隊等)のメッセージを添えて展示しました。展示は11月9日から13日まで公開し、多くの方が立ち止まって見学されました。

『福祉で働くステキな人たち』
『お仕事自慢』

『自分の入りたい施設を目指して』

特別養護老人ホーム恵翔苑では、デイサービス、ショートステイ、特別養護老人ホームの従来型とユニット型等、フロアごとに様々なサービスを行っており、職員さんは各フロアへ順番に異動すること、幅広い知識や技術を身に付けられることが自慢とのこと。様々なフロアで多くの利用者さんとの出会い、これまでの生活や人生を知ること、**「施設」ではなく「自分の家」として過ごせるような居心地のよい環境を提供したい!**という思いに繋がると熱くお話しくださいました。

また、施設からは、元気に働く自慢の職員さん3名にご登場いただき、その中



で看護師の吉村さんは、恵翔苑で人生の最期を迎える利用者さんについてお話しくださいました。1世紀近く生きた利用者さんの最期を見送らせていただくことに幸せを感じながら、精一杯の感謝を込めて送りだしをされるそうです。

『福祉で働くステキな人たち』
『職員自慢』

『多彩な技能や経験を持つ職員さんたち』

障がい者支援施設白竹の里では、農耕園芸班や炭焼き班などに分かれて作業をします。各班では職員さんの技能や経験を活かし、利用者さまと共に作業を行い、職員も利用者さんと共に働く喜びを感じていることや、支援の仕事は、日々利用者さまの苦手なことをサポートし上手くできるように、考え工夫していることをエピソードを交えてお話しくださいました。

また、コロナ禍での施設の生活を盛り上げるため、職員による火の舞などのイベントを企画し実施することで、外出が思うようにならない利用者さまたちも気分転換になったようです、と迫力ある動画を見ながら紹介されました。

「利用者さまの生活の場に立ち、支えることは大変で難しさを痛感しますが、支援を行う中で利用者

さまの笑顔が見られたときはやりがいを感じます」とのこと。他の職員さんたちのお話でも、日々学び、利用者さまのために何ができるか考え、支援が笑顔につながった時はやりがいを感じるという思いは共通でした。



『福祉で働くステキな人たち』
『施設自慢』
『在宅復帰を目指して』

介護老人保健施設寺田ガーデンは、住み慣れた地域で末永く生活できるよう、リハビリによる身体機能の回復等を行う施設です。

生活リズムの改善を図るため「大人の学校メソッド」を導入し、授業形式で1コマ30分のレクリエーションに利用者さまが楽しく

参加しておられ、時間になると周りを誘って参加されたり、昔を思い出して会話が盛り上がるなど、エピソードを交え紹介してくださいました。



また、医師、看護師、介護スタッフを始め様々な専門職が在籍し、利用者一人ひとりの目標に向けて多職種連携で寄り添ったケアをしていることをお話しくださいました。このように、リハビリやレクリエーションを通して身体機能の回復や生活リズムの改善を支援する寺田ガーデンでは、笑顔が素敵な職員さんたちが、施設内の雰囲気や日々の業務をなごませてくれるそうです。趣味のお菓子作りを仕事に活かして、利用者さまと一緒にお菓子作りに取り組んだり、利用者さまに施設で楽しく生活してもらえよう工夫されているそうです。

3 施設の職員さんからは、仕事での苦労や、働きやすい職場環境の整備なども紹介されました。その中で、「良い介護士になろうと気負うとつらい時もあります。」

良い介護士を演じられるアクターアクトレスになることも必要」と、その真意をお話しくださいました。最後には、視聴者の方に向けたメッセージで「生まれ育った地域で繋がりを感じて働くことが出来るのが魅力。地域に貢献したい、恩返ししたい」「一人ひとりの人生や心情に触れ寄り添ったケアをし、利用者さまやそのご家族の希望がかなえられ、ありがとう」と感謝されることがやりがい「利用者様の『できる』ようになりたい」をサポートし伸ばすことが出来たときは本人の喜びとなり職員にとってもやりがいを感じられる」などと、それぞれお話しくださいました。



イベントに参加された方からは、「このイベントを見て、もっと福祉に興味がわいてきました(高校

生)」「4月から介護職として働きます。頑張って国試合格します」などの声も。人材センターでは、このように介護・福祉で活躍される方が増えるよう、今後も情報発信や就職サポートを継続してまいります。

紙面での報告はイベントのごく一部です。詳しくは「ふくしワールド2022」特設Webサイトをご覧ください。
お問い合わせ
058-27612510

【主催】

岐阜県社会福祉協議会

社会福祉法人恵北福祉会

医療法人和光会、
社会福祉法人清流会、

ぎふ福祉の魅力知らせ隊、

福祉のイメージアップ委員会



Twitter
ぎふ福祉の魅力
情報BOX☆



福祉のお仕事
魅力発信イベント
特設サイト

企業における社会貢献活動に関する調査結果と 企業と社協の連携による地域福祉活動の推進について

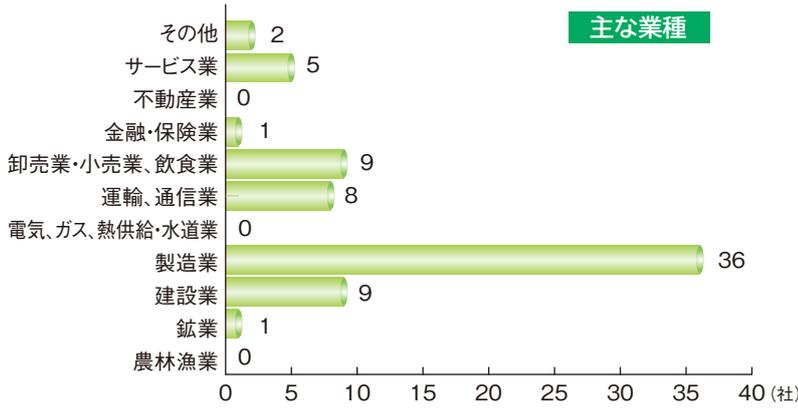
調査の概要

SDGsが示され、17の目標を達成するため、企業の社会貢献への意欲が高まっています。本会では、一般社団法人岐阜県経営者協会会員を対象に企業における社会貢献活動に関する調査を実施しました。今回は、結果概要についてお伝えします。

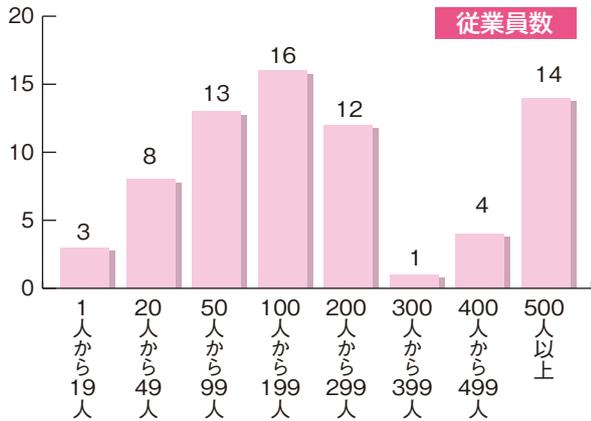
○調査期間 令和4年8月

○回答数 71社

【主な業種・従業員数】



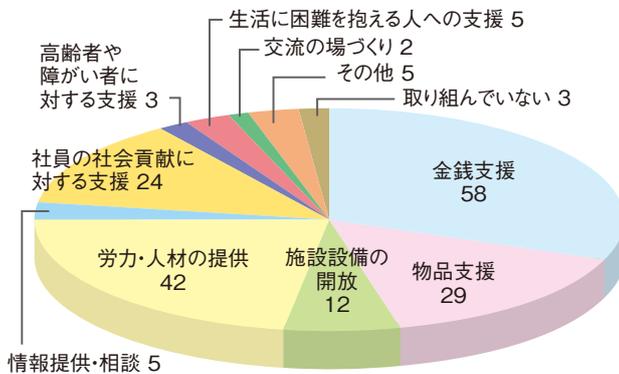
回答いただいた企業の内、36社が製造業で、全体の約半数となりました。また、従業員数100名以上200名未満の企業に多く回答いただきました。



【現在、取組中の社会貢献】

現在の社会貢献活動の状況

※複数回答有



「金銭支援」を行っている企業が58社で、回答企業の8割が実施されています。一方で「労働・人材の提供」を

行っている企業が42社と全体の6割で実施されていました。この設問項目の内、「労働・人材の提供」「高齢者や障がい者に対する支援」「生活に困難を抱える人への支援」「交流の場づくり」の取組の主な内容は次のとおりです。

- 清掃活動
- 地域イベントへの協力
- 小中学校での出張講座
- 登下校の見守り活動
- 高齢者の見守り活動
- 災害時の避難場所の提供
- 小中学生への職場見学の実施
- 子ども110番

この中で、特徴的な活動については、さらなる詳細内容を取組事例として本会のHPでご紹介をさせていただきます。

企業と社協との連携

人口減少・少子高齢化等による地域福祉活動の担い手不足や生活困窮等の複雑な課題を抱える家庭の増加等により、社会福祉協議会では、企業・NPO・社会福祉法人施設等様々な団体と連携していくことが求められています。

そのような中、本会ボランティア・市民活動支援センターにも企業より「地域のために活動をしたがどうしたら良いか」というご

相談を受ける機会が増えてきています。

こうした相談に対し、地域住民主体の小地域活動を支援する市町村社協をご紹介し、地域のふれあいサロンの活動への参画につなげたケースもあります。

今回の調査では、社協が求める企業との連携についてPRすると共に、今後の連携の可能性についても聞きしました。

調査では、

①小地域活動（地域での見守り活動やふれあいサロン、助け合い活動等）への協力が実施するフードバンクへの協力

②子ども居場所応援センターの職場見学・体験の受入れ

③ひきこもり等就職困難者への職場見学・体験の受入れ

④障がい者施設への仕事の受注や製品の購入
注や製品の購入
について、興味があるかを伺い、「ある」と回答した23社に本会職員が出向き事業の概要を説明しました。

その結果、

①小地域活動への協力のため、市町村社協とのつながりを持つていただいた企業

(2社)
②フードバンクへのサポート登録をいただいた企業

(3社)

③就労見学・体験受入れへの登録をいただいた企業

(2社)
④障がい者施設への仕事受注に向け、施設との商談会に参加いただいた企業

※数字は、令和4年11月7日時点

がありました。

この他、今後取組について検討していきたいという企業もありますので、情報提供等の働きかけを行っていきます。

今回の調査や訪問を実施する中で、企業が成り立つのは地域のおかげで、地域を活性化させたい、地域のために何かをしたいとの思いを強く抱いている企業が多くあると感じました。

一方で、地域が何を求めているのかがわからず、何に取り組めば良いかわからないとの声も聞かれました。

社協は、企業を地域づくりのパートナーとし、日常的に関係性を構築しながら、企業の持つスキルと地域のニーズや課題とをマッチングさせていくことが求められています。

本会では引き続き、企業の社会貢献活動の支援を行うと共に、地域の活性化につなげていきたいと思えます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 入院中の手術 保険金 外来の手術			65,000円		
				32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL:03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

「安心とやさしさに包まれたまち」を目指して

本巣市本巣民生委員児童委員協議会



北の端を福井県と接する本巣市は、国道157号に沿って流れる根尾川を背骨にして、平成の大合併で本巣郡内の四町村が合併して誕生した南北に細長い自然豊かなまちです。

私たちの担当エリアは、本巣トネル北側の山間部と南側の平野部の人口7200人程の地域（旧本巣町）で、委員18名（内主任児童委員2名）が活躍の場としています。

地域の皆さんと

信頼の絆づくり

社会福祉協議会からの依頼で行っている、ぬくもり訪問（一人



▲ぬくもり訪問の様子

住まいの高齢者宅への訪問）で安否確認や日用品の配布をしたり、消防署の防火訪問に同行する中で、一人住まいはもちろん、高齢夫婦障がいのある方等、常に地域の皆さんとの繋がりを大切に活動しています。

子どもたちを見守って

毎年5月に実施される活動強化週間には、地域内の小中学校を訪問して授業の様子を参観し、先生方とはお互いが持っている情報を



▲学校訪問の様子



▲小学校登校あいさつ

出し合いながら子どもたちの健全な成長を願い話し合いをしています。

また、毎月定例会当日の朝は、登校時の安全を見守り、各校の校門の前に立ち「おはよう」と声をかけながら子どもたちとのコミュニケーションの場としています。

奉仕活動で汗を流して

担当エリアには本巣広域連合が運営する老人福祉施設「大和園」があり、広い敷地内の一角には駐車場を取り囲むようにサツキが植えられています。委員全員が参加して、花が咲き終わった6月には剪定と草刈りを行い、秋には夏の間伸びきった草を刈るのが恒例となっています。施設内の皆さんや訪れる皆さんに喜んでいただいています。



▶大和園のサツキ剪定の様子



委員のスキルアップを

目指して

毎月第2木曜日の午後、2時間ほど定例会を行っています。日常生活の中で地域住民の身近な相談相手としての具体的な活動事例を毎月2名が順番に発表し、委員相互の意見交換と今後の課題を抽出する機会としています。また、市の担当者や市社会福祉協議会担当者からのアドバイスをいただきながら、委員が自分のこととして受け止め、日頃の活動に役立てていきます。

コロナウイルス感染症の長期化により思うように活動を実施できていませんが、市内の施設を訪問し現場を体験したり、各分野の専門の方をお招きして話を聞く場を設けています。救急救命・児童虐待・成年後見制度・生活保護制度等、数多く学んできました。

これから私たちは

私たちの担当エリアは残念ながら子ども数はどんどん少なくなると高齢化が進んでいます。安心して暮らせる地域となるよう、日常の活動を通じて信頼される委員として成長できるように、これからも地道に活動していきたいと思っています。

リフトバス「ながら号」

令和5年度運行分（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
仮予約の受付を開始します！

1. 受付開始日 令和5年1月10日（火）
2. 受付開始時間 午前9時（受付時間前の申込はご遠慮ください）
3. 受付電話番号 058-201-1561
058-201-1562



※受付は先着順に行いますので、ご希望に添えない場合があります。

※特に、受付開始当初は電話が大変混雑します。

その際は、一旦受付のみで電話を切り、改めてこちらから電話をいただいた順にお電話をいたします。

※令和5年度利用者負担額（基本会費等の単価）は現時点では未定です。

決まり次第、ホームページ等で公表します。

岐阜県社会福祉協議会ホームページ <https://www.winc.or.jp>

～障がい者就労支援事業所商品展示販売会～ 「岐阜福祉の杜」追加開催のお知らせ

毎回、ご好評をいただいております障がい者就労支援事業所商品展示販売会「岐阜福祉の杜」について、追加の開催が決定しました。

岐阜県内の障がい者就労支援事業所で作られた食品や雑貨、日用品などを取り揃えております。

みなさまのお越しをお待ちしております。



※写真は令和4年9月開催の同イベント
(モレラ岐阜 1階グリーンプラザ)

日時 _____

令和5年
1月19日(木)～1月23日(月)
10:00～17:00
(最終日のみ10:00～16:30)

会場 _____

モレラ岐阜 1階オレンジプラザ

日時 _____

令和5年
2月1日(水)～2月5日(日)
10:00～17:00
(最終日のみ10:00～16:30)

会場 _____

マーサ21 1階マーサスクエア

お問い合わせ先

岐阜県社会福祉協議会 施設人材部
TEL 058-201-1561 (担当:野村)



ありがとうございました！

岐阜県製麺協同組合様よりゆで麺（うどん）の寄贈

11月10日、岐阜県製麺協同組合（尾関郁夫理事長）様より、ゆで麺（うどん）のご寄贈をいただきました。

同組合では、11月11日の「めんの日」の行事の一環として、平成15年度より県内の社会福祉施設へゆで麺の寄贈を行っており、今年度は本会を通じて、障がい者福祉施設および児童養護施設等計39施設に1,500食を寄贈されました。



▲ゆで麺 受け渡しの様子
中央 岐阜県製麺協同組合 尾関理事長
＝岐阜県福祉・農業会館



▲ゆで麺を受け取る県内障がい者福祉施設等の職員

トヨタL&F中部株式会社様より車いすの寄贈



▲写真左から
トヨタL&F中部(株) 熊田第五営業部長、西山執行役員、
(社福)あしたの会 ふくろうの家 村井施設長、
県社協 小林常務理事 ＝岐阜県福祉・農業会館

11月15日、トヨタL&F中部株式会社（長谷武取締役社長）様より、車いすのご寄贈をいただきました。

同社は、社会貢献活動の一環として、平成19年度より毎年、愛知県・岐阜県・三重県の社会福祉施設等へ車いすの寄贈を行っており、本年度、岐阜県については、県内16の障がい者福祉施設に計20台が寄贈されました。

寄贈式においては、本会の小林常務理事からトヨタL&F中部(株)執行役員 西山様に感謝状を贈呈いたしました。

また、寄贈先施設を代表して(社福)あしたの会 ふくろうの家 施設長 村井様が車いすを受け取られ、お礼の言葉を述べられました。

住友生命保険相互会社 岐阜支社様よりタオルの寄贈

11月28日、住友生命保険相互会社 岐阜支社（西村卓朗支社長）様より、未使用タオルの寄贈をいただきました。

同社は、コロナ禍の中、福祉の現場においてタオルの需要が見込まれることから、社会貢献活動の一環として、職員の方々が未使用タオルを持ち寄り、今年度は196本の未使用タオルを寄贈されました。

寄贈式においては、本会の小林常務理事から住友生命保険相互会社 岐阜支社 総務部部长 志賀様に感謝状を贈呈いたしました。

また、寄贈先保育園等を代表し、岐阜県保育士会副会長（池田町立西保育園 園長）山本様が、お礼の言葉を述べられました。



▲写真右から、住友生命保険相互会社 岐阜支社 志賀総務部長、
岐阜県保育士会 山本副会長、県社協 小林常務理事
＝岐阜県福祉・農業会館

*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL(058)201-1545 FAX(058)275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行